

国際物流戦略チーム  
**幹事会等の取り組み状況**

**【会議等開催状況】**

- ・ 第七回幹事会  
平成 19 年 7 月 10 日（月） 10：00～12：00  
KKR HOTEL OSAKA 3階 銀河
- ・ 第八回幹事会  
平成 19 年 12 月 10 日（月） 14：00～16：00  
ホテル大阪ベイタワー 4階 ベイタワーホール
- ・ 第九回幹事会  
平成 20 年 2 月 18 日（月） 10：00～12：00  
KKR HOTEL OSAKA 3階 銀河

**【昨今の取り組み状況について】**

- 第三回本部会合で決定された短期対応施策について、港湾・道路・空港に関する各施策について、ほぼ対応方針どおり進捗していることが報告されました（資料 1-2）。
- 大阪湾諸港の一開港化については、関係法令が改正され、平成 19 年 12 月 1 日に「大阪港」、「尼崎西宮芦屋港」及び「神戸港」を「阪神港」に統合し、一開港化が実現しました（参考資料 2-2 頁）。
- 「港と港の連携」については、スーパー中枢港湾「阪神港」における高規格コンテナターミナルの整備、広域連携による物流効率化として、中国・四国地方の港湾との連携強化策の検討、日本海側の港湾との連携方策検討を目的とした勉強会の開始、事業継続計画（BCP）の策定、大阪湾ポータルサイトの構築、港運はしけを活用したコンテナ輸送の効率化、船舶運航サポート情報提供システムの構築、環境にやさしいモーダルシフトの推進としてグリーン物流パートナーシップ推進事業の普及・促進に関して、取り組みや進捗状況について確認しました（参考資料 2-3～9 頁）。
- 「港と道路の連携」については、阪神高速 8 号京都線における料金割引社会実験などの高速道路料金割引社会実験に関する取り組みが行われました（参考資料 3）。
- 「海港と空港の連携」については、関空の国際貨物ハブ空港機能の強化、北米向け貨物便の社会実験等に関する取り組みが行われました（参考資料 4）。

## 【成果の検証】

- これまでの国際物流戦略チームの取り組みによる産業の国際競争力強化等に対する成果の検証について報告があり、スーパー中  
枢港湾「阪神港」や関西国際空港等の活用等を図りつつ、国際物  
流の効率化を通じて、関西経済の活性化を目指していくことを確  
認しました（参考資料5）。

## 【今後の取り組みについて】

- 平成19年度に一開港化がなされた事を契機に、大阪湾諸港の  
連携を更に推し進めるとともに、完全24時間化となった関西  
国際空港を活用し、関西の国際競争力強化を図るため、以下  
の事項を集中的かつ早急に取り組んでいきます（資料2）。